



ワン! モアヒューストン



Vol.6 ゆかりの土地を訪ねる旅

川原志津香(家庭犬しつけインストラクター)

「犬と一緒に暮らしていると、旅行に行きにくい」という話をよく聞きます。確かに、犬も一緒に旅行に行くとなると、行動が制限されることもあるでしょうし、犬連れで行けない場所であればペットホテルを手配することになり、時間もコストもかかってしまいます。旅行に行く場合は、明らかに人間だけの方が身軽です。でも我が家の場合は、犬がいたからこそ訪れてみたという旅先もあり、そこで面白い出会いもあったので、今回触れてみたいと思います。

今から17年も前の2006年のことです。当時我が家にいたウェルシュ・コーギーのシャーリを連れて北海道に旅行に行ったことがありました。知床観光をする途中で名前に惹かれて立ち寄ったのは斜里町(しゃりちょう)という名前の町でした。シャーリの名前に似た町があることがとても嬉しくて、初めて訪れたその町にとっても愛着を感じたのを覚えています。もともと犬と一緒に色々な場所に出かけることは好きなのですが、そのときから、犬と同じ名前の土地を探して犬と一緒に訪れるという楽しみが増えました。



▲2006年、シャーリと斜里町へ

その後迎えた愛犬ヒューゴの名前に似た地名はないものかと思っていたときに、夫のヒューストン駐在に帯同することになりました。もしかするとヒューストンの周りにヒューゴに似た地名があるかもしれない、と地図の検索をしていたところ、同じテキサス州には見つけられませんでした。テキサス州の北のオクラホマ州にHugoという名前の町があることが分かりました。観光地ではないので、ガイドブックなどにも載っていない、犬の名前と同じという縁がなければ、存在すら知らない場所でした。

2010年にヒューストンに引越した翌年、娘を出産後初めての旅行先としてHugoに行くことにしました。せっかく訪れるのだからとインターネットで調べてみると、町の名前の由来はフランスの作家ヴィクトル・ユゴーからきていること、そして冬季に複数のサーカスが逗留する土地として有名なため、「サーカス・シティ」と呼ばれていることも分かりました。

Hugoはヒューストンから車で片道5時間半の場所にありました。到着してみると、Welcome to HUGOの看板があるかと思えば、HUGO DAILY

NEWSという新聞社があり、とにかくヒューゴだらけでした。HUGOのロゴ入りの看板の前でヒューゴと一緒に写真を撮っていると、通りかかった人が話しかけてきてくれたので、「犬の名前がヒューゴというので写真を撮っていた」と説明しました。「自分が住んでいる町と同じ名前だなんて、良い名前をつけてもらったね、ようこそHUGOへ」と笑いながら会話を交わしたものでした。のんびりとした湖畔を散歩し、鉄道博物館を見学して、ヒューゴと訪れるHugoへの旅の目的は達成されました。

さて、次は愛犬オスカーの番です。夫の2回目のヒューストン駐在が決まった後、まさかオスカーという地名はないだろう、と地図検索をしてみると、意外にもヒューストンから車で2時間半のところにOscarという地名があることがわかりました。これは、行くしかありません。家族には、何がある場所なの？と呆れられつつも、せっかくだからオスカーと一緒に行ってみようよと説得し、週末にWacoに観光に行く際に帰り道に立ち寄ることにしました。

ところが、いざ行くことにしたのは良いものの、Google Map で検索してみても、あまり目ぼしい観光名所などが見当たりません。観光名所どころか、宿泊施設も、ガソリンスタンドさえもないようでした。唯一、地図上で表示されたのは「Oscar Store」というお店で、一体なんのお店なのか分からないまま、この場所を目指してみることにしました。調べれば調べるほど何ものなさそうな場所と分かり、Waco観光と同じタイミングにして正解でした。

車でWacoから約40分。Google Map の案内で到着した先は、町の規模にもならない、Oscar Ln、Oscar Spur Rd、Oscar School Rdの3つの通りで区切られた一角でした。そして、確かに「Oscar Store」という看板を掲げたお店らしき建物があり、お店の駐車場には何台か車が停まっているのが見えました。正直、こんなに何も無い場所の1軒だけのお店に、お客さんが集まっているのが不思議なぐらい、何も無い場所でした。一体何のお店なのでしょう？恐る恐るのぞいてみると、ランチを食べにきた地元の人で賑わうレストランでした。思いもよらず、焼き加減を聞いて作ってくれるハンバーガーや、「ステーキサラダ再開しました！」と店内の黒板で告知するだけある美味しいステーキを食べさせてくれるローカルなお店に巡り合うことができました。おそらくあまり外国人客は来ないのでしょう。会計のときに「どこから来たの？」と話しかけられ、「日本から来て、今はヒューストンに住んでいるの」と話し、さらに「実は犬の名前がオスカーという名前でここにきた」と話をしたところ、そんな奇遇があるのかと驚かれました。オスカーがいなければ、出会うこともなかったローカルのレストランでのそんな会話もまた楽しい思い出の一つになりました。

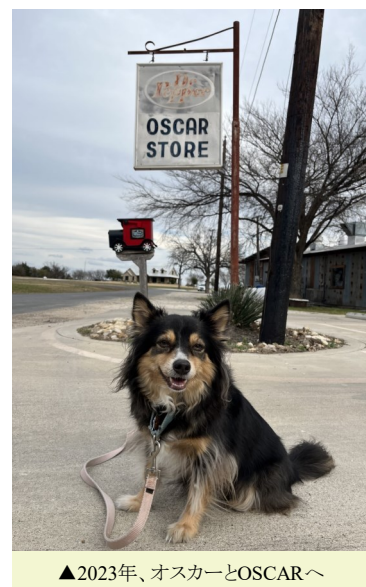
ガルフストリームの読者の方の中にも、犬と暮らしている方が多くいらっしゃると思います。犬の名前に似ている地名があるかどうか、検索をしてみたいかがでしょうか。身近なところに面白い発見があるかもしれません！



▲2011年、ヒューゴとHUGOへ



▲2011年、ヒューゴとHUGO新聞



▲2023年、オスカーとOSCARへ